

水産物の調達基準にかかわる
取組の推進状況について(水産物)

平成31年4月
水産庁

○ 我が国で活用されている主な水産エコラベルは、

① ^{メル}日本発の漁業認証のMELと^{エル}養殖認証のAEL ※両者は今後、統合することで基本合意(2018年3月)

② ^{エムエスシー}海外発の漁業認証のMSCと^{エーエスシー}養殖認証のASC

の4種類が知られている。なお、いずれの認証も民間団体により運営されている。

海外発の認証

MSC認証



<イギリス>

【日本での認証数】

4漁業

- ・ホタテガイ(北海道)
- ・アカガレイ(京都府)
- ・カツオ(宮城県)
- ・ビンナガ(宮城県)

188事業者(流通加工)

漁業

<日本>

【日本での認証数】

47漁業

- ・サケ(北海道)
- ・カツオ(高知県他)
- ・サンマ(岩手県)
- ・サクラエビ(静岡県) 等

66事業者(流通加工)

MEL認証



日本発の認証

ASC認証



<オランダ>

【日本での認証数】

5養殖業(60養殖場)

- ・カキ(宮城県)
- ・ブリ(宮崎県、鹿児島県)

70事業者(流通加工)

養殖業

<日本>

【日本での認証数】

39養殖業

- ・カンパチ(宮崎県)
- ・ブリ(鹿児島県)
- ・マダイ(愛媛県) 等

18事業者(流通加工)

AEL認証

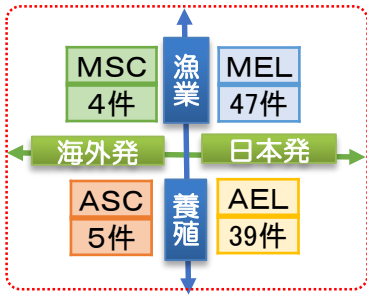


※今後、MELに統合

(参考) 国内の水産エコラベルの認証状況

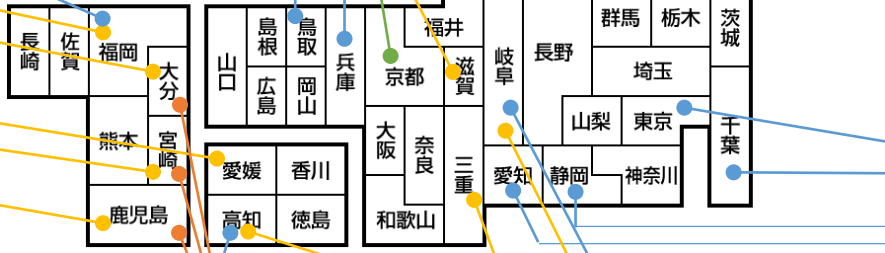
10-12	愛媛県	マダイ(3件)
13-15	愛媛県	ブリ(3件)
16-17	愛媛県	カンパチ(2件)
18-19	愛媛県	シマアジ(2件)
20	愛媛県	サツキマス
21	愛媛県	カワハギ
22	愛媛県	スズキ
23	愛媛県	スマ
24-25	愛媛県	クロマグロ(2件)
26	愛媛県	クエ
27	愛媛県	ヒラマサ
28	愛媛県	イサキ

44	福岡県	ハマグリ
29	福岡県	マガキ
30	大分県	マダイ
31	大分県	ブリ
32	宮崎県	カンパチ
33-34	鹿児島県	ブリ(2件)
35-36	鹿児島県	カンパチ(2件)
37	鹿児島県	マダイ
38	沖縄県	ヤイトハタ、 チャイロマルハタ
39	沖縄県	オキナワモズク、 モズク
45	沖縄県	ソデイカ
46	沖縄県	マグロ類
47	沖縄県	アカサング、モモイ ロサング、白珊瑚



34	富山県	富山湾寒鰯大敷網漁業
35	石川県	まき網漁業(ブリ、マイワシ、 ウルメイワシ、マサバ等)
36	兵庫県	イカナゴ、マイワシ、 カタクチイワシ
37	鳥取県	ベニズワイガニ

6	滋賀県	アユ
4	京都府	アカガレイ



3	大分県	ブリ
4	宮崎県	ブリ
5	鹿児島県	ブリ

38	高知県	カツオ
39-41	高知県	キンメダイ(3件)
42	高知県	ゴマサバ
43	高知県	キビナゴ

1	北海道	南かやべ定置漁業
2	北海道	猿払さけ定置漁業
3	北海道	猿払小型定置漁業
4	北海道	宗谷さけ定置漁業
5	北海道	ホッキガイ、サラガイ、 アラスジガイ、バカガイ

1	北海道	ホタテガイ
---	-----	-------

3-4	三重県	クロマグロ(2件)
5	三重県	マダイ

7	高知県	ブリ
8	高知県	マダイ
9	高知県	カンパチ

※番号は基本的に北から順に合計件数をカウントするためのもの

6	青森県	ヤマトシジミ
7	青森県	アブラツノザメ
8	岩手県	サンマ

2	宮城県	カツオ
3	宮城県	ビンナガ

1	宮城県	ギンザケ
---	-----	------

1-2	宮城県	カキ
-----	-----	----

9-12	福島県	ヒラメ(4件)
------	-----	---------

13-14	福島県	ヤナギムシガレイ (2件)
-------	-----	------------------

15	福島県	コウナゴ
----	-----	------

16	福島県	ホッキガイ
----	-----	-------

17	福島県	アワビ
----	-----	-----

18-20	福島県	マアナゴ(3件)
-------	-----	----------

21	福島県	カツオ
----	-----	-----

22	東京都	カツオ
----	-----	-----

23	東京都	カツオ、ビンナガ
----	-----	----------

24	東京都	ハマトビウオ メカジキ、メバチ、 ソデイカ、キハダ、 ビンナガ、クロマグロ
----	-----	--

25	東京都	ナメモンガラ、カンパチ、 ヒレナガカンパチ クサヤモロ
----	-----	-----------------------------------

26	東京都	ヤマトシジミ
----	-----	--------

27	東京都	スズキ、コノシロ
----	-----	----------

28	千葉県	サクラエビ
----	-----	-------

29	静岡県	キンメダイ
----	-----	-------

30	静岡県	キンメダイ
----	-----	-------

31	愛知県	イカナゴ
----	-----	------

32	愛知県	マイワシ、 カタクチイワシ
----	-----	------------------

※平成30年9月末日現在

日本発の水産エコラベル普及推進事業

【平成31年度予算概算決定額 58（70）百万円】

<対策のポイント>

水産資源の持続的利用に対する国際的な関心の高まりへの対応や水産物輸出の増加を図るため、資源管理や環境配慮への取組を証明する水産エコラベルについて、我が国の実態に応じた日本発の水産エコラベル認証を国内外に普及するとともに、国際取引を含めた水産エコラベルの活用による国産水産物消費拡大の取組を推進します。

<政策目標>

日本発の水産エコラベルの生産段階認証の認証数（150件〔平成34年度まで〕）、水産物輸出額（3,500億円〔平成31年〕）

<事業の内容>

1. 日本発の水産エコラベル認証規格策定推進事業

- 認証規格を分かりやすく解説する、事業者向けの漁法・養殖方法・魚種別のガイドライン等を策定します。

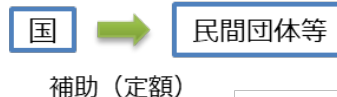
2. 水産エコラベル認証普及推進事業

- 「水産エコラベルを活用した国産水産物消費拡大戦略」（平成30年度策定予定）を実行します。
 - 国際シンポジウムの開催、国際機関等への働き掛け
 - 認証取得者の持続可能性に配慮した取組の紹介
 - イベント（展示会・見本会、認証品を使用したメニューの提供）の開催・出展
- 水産エコラベル認証取得を促進します。
 - 認証取得を希望する事業者向けの講習、コンサルティング業務の実施
 - 認証審査員等向け研修の実施（e-ラーニングの開発、研修会の開催）



マリン・エコラベル・ジャパンのロゴマークが貼付された商品の

<事業の流れ>



<事業イメージ>

日本発の水産エコラベルの推進

- ・我が国の実態に応じたガイドラインの策定

（例）船曳き網、定置網 等



水産エコラベル認証の普及

国内外の認知度の向上

- ・国際機関等との連携
- ・国際シンポジウムの開催



- ・取組事例の紹介
- ・イベント開催・出展



認証取得数の増加

- ・事業者等向け講習会
- ・コンサルティングの実施



- ・認証審査員の増加



国産水産物の消費拡大

【お問い合わせ先】水産庁企画課（03-6744-2343）

持続可能な水産業の認証活用加速化事業

【平成30年度2次補正予算額 70百万円】

<対策のポイント>

水産資源の持続的利用に対する国際的な関心の高まりへの対応や水産物輸出の増加を図るため、特に国際取引において、資源管理や環境配慮への取組を証明する水産エコラベルについて、**我が国における認証の活用を加速化させる**とともに、国産水産物消費拡大の取組を推進します。

<政策目標>

日本発の水産エコラベルの生産段階認証の認証数（150件〔平成34年度まで〕）、水産物輸出額（3,500億円〔平成31年〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 輸出に向けた持続可能な水産物の連携推進事業

- 持続可能な日本の漁業・養殖業の国内外の事業者との連携を推進します。
 - 持続可能性に配慮した水産物を調達したいと考えている国内外のホテルや外食、小売事業者等と、漁業者・養殖業者、流通加工業者のマッチングに向けた取組
 - 不特定多数に対する認証取得に関する質問や相談等の総合的なアドバイス

2. 水産エコラベル認証取得に向けたコンサルティング事業

- 水産エコラベル認証を取得しようとする事業者に対するコンサルティングを実施します。

輸出に向けた持続可能な水産物の連携の推進

- ・持続可能性に配慮した水産物の調達に係るマッチング
- ・認証取得を検討している事業者へのアドバイス



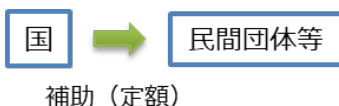
コンサルティングの実施

- ・現場での事業者に対するコンサルティングの実施



国産水産物の消費拡大

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 水産庁企画課 (03-6744-2343)